令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	局名	都市整備局
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	課（室）名	道路整備課
施策	身近な道路環境の整備	電話番号	087-839-2516
基本事業	生活道路の整備・充実	事業実施主体	市
事務事業	道路整備事業（建設計画等登載路線）	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	建設計画に位置付けられている市道下川原北線を始めとする２車線以上の道路（※）等について、将来交通量を推計し、道路の規格などの見直しを行う中で、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を図る。（※）１下川原北線　２中坪寺井線　３香川綾南線　４城渡吉光線　５南部中央線　６明神永之谷線　７高橋線
2年度概要	①城渡吉光線　道路改良工事等 ②下川原北線　道路改良工事等

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：建設計画に位置付けられている２車線以上の道路 対象者：道路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	建設計画登載の２車線道路を整備することにより、道路利用者の利便性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 単年度整備延長	m	359	85	268	79	79
②						

【事業の成果】

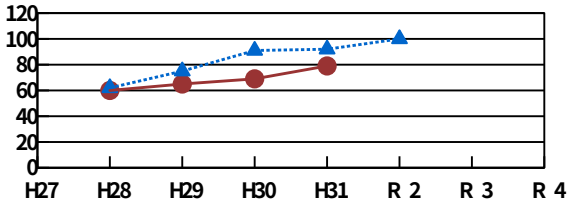
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
道路整備率	%	目標値	75	91	92	100	100
		実績値	65	69	79		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

明神永之谷線の整備が、予定どおりに完了した。

（目標達成度）



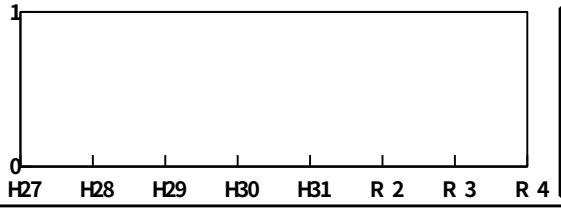
（達成度）
85.9%
30点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	357,914	121,705	291,218	326,669
(事業費)	[千円]	327,566	79,358	247,208	287,211
(職員人件費)	[千円]	30,348	42,347	44,010	39,458

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

明神永之谷線については整備が完了した。城渡吉光線の用地取得が完了し、改良工事に着手した。下川原北線については、関係機関との協議等に日時を要した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域審議会等、地域の関係者と連携しながら、現在整備中の下川原北線などについては、財源確保に努め、早期供用を目指す。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	局名	都市整備局
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上	課（室）名	道路整備課
施策	身近な道路環境の整備	電話番号	087-839-2516
基本事業	生活道路の整備・充実	事業実施主体	市
事務事業	道路新設改良事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内に存する８００ｋｍを超える幅員４ｍ未満の市道について、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境を創出するため、地域バランスに配慮しながら、４ｍ以上の拡幅整備等を行う。
2年度概要	市単独新設改良事業 単独県費補助事業 道路新設改良国庫補助事業

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：市が管理する道路で主に幅員４．０ｍ未満であり一定の要件を満たした整備要望のある路線 対象者：道路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	道路利用者の利便性の向上が図れる。

【事業の活動】

	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
①	工事施工路線数	路線	43	29	27	45	45
②							

【事業の成果】

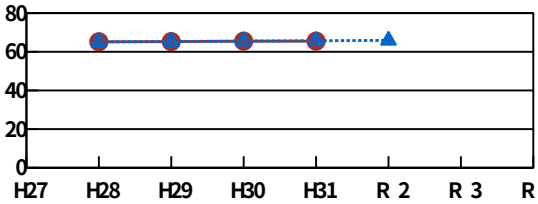
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
幅員４ｍ以上の市道整備率	%	目標値	65.3	65.5	65.7	65.9	65.9
		実績値	65.26	65.5	65.5		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

道路整備を行ったが、新たに道路認定したことにより、整備率は横ばいとなり、目標を達成できなかった。

（目標達成度）



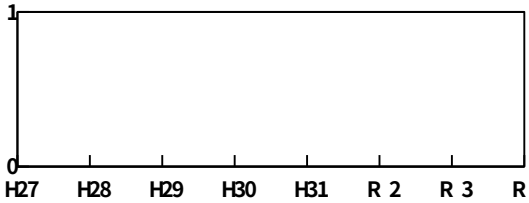
（達成度）
99.7%
34点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	597,498	573,223	394,045	760,915
(事業費)	[千円]	561,080	538,438	359,140	726,010
(職員人件費)	[千円]	36,418	34,785	34,905	34,905

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

生活道路整備事業において、中・長期採択路線を含む整備方針が決まったことから、更なる事業の推進を図る。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民ニーズに応えながら、地域バランスも考慮し投資効果の向上、コンパクトエコシティの推進等を目的として、生活道路整備審議会の答申を踏まえ、円滑な事業の推進を図っていく。